

いちょうだより

2018年12月17日

天童中部小学校

校長 大谷敦司

初冬は「記録的な」温かさだったのですが、12月に入って寒さが厳しくなり、一気に銀世界となりました。「結局は、一定量の雪は降るものだよ」という声も聞こえてきました。

年度で一番長い2学期も今週末で終わろうとしています。「記録的な」暑さの夏から、授業日として84日経ったこととなります。子供たちの暮らしを見ていると、充実の2学期になったことを実感します。22日の通知表配付・学級懇談会へのご出席をよろしくお願いいたします。

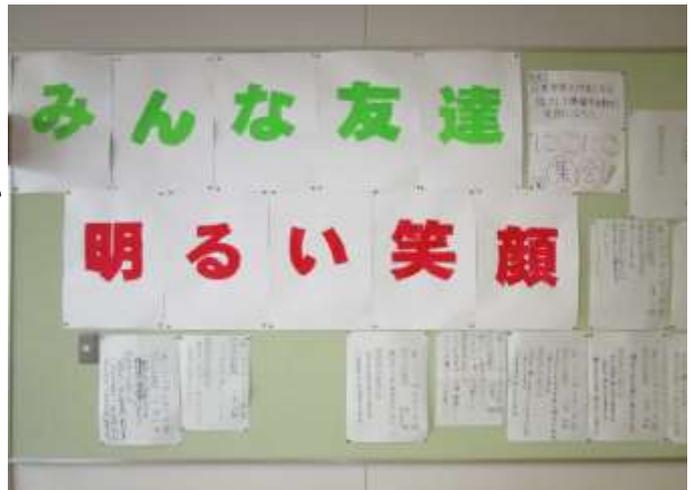
では、少々早めですが、「どうぞ、良いお年をお迎えください」。

気持ちのよい挨拶をめざして

4月から、「気持ちのよい挨拶」ができるように取り組んできました。コンピュータ・AIが急激に進化発展する世の中になればなるほど、人間らしい・人間同士の関わり合いが重要になってくるはずです。加えて、一層グローバル化した社会で多様な人々と一緒に生活することになるであろう子供たちには、好ましいコミュニケーションの一步として挨拶の重要度はさらに高まるはずです。

そんな先の話ばかりではなく、今、一緒に生活する人々と仲良く生活するには、気持ちのよい挨拶ができることは大切です。そんな中で、児童会の計画委員会が「12月は、あいさつがんばり月間とし、各クラスで話し合いをして取組を考え、みんなが自分から明るく元気にあいさつできる中部小にしていこう！」と代表委員会に提案し賛同を得ました。

各クラスでめあてと取組みが話し合われ、それらの記された用紙が現在コンパス・ホールに掲示されています。



これから冬休みに入ります。年末・年始となるため、各ご家庭でも自然と人の出入りが多くなる傾向があるのではないのでしょうか。せっかくの機会ですので、挨拶にはどんな意味があり、どんな挨拶をすることが気持ちよいのか、等々のお話を子どもたちとしていただければありがたいと考えています。ご家庭でも、「挨拶頑張り月間」の継続をぜひよろしくお願いいたします。

気持ちのよい登下校のために



雪模様の天候になると、活躍するのは長靴やブーツなどです。しかし、それらは丈が長いので下足箱に入らないことがあり苦労していたという声をお寄せいただきました。

そこで、今冬から期間限定の長靴・ブーツ置き場を技能士さんが工夫して設置してくれました。朝から靴下等が濡れていては気持ちよく生活できません。安心して、長靴やブーツで登校してほしいと思います。

授業場面から

学校生活の多くの時間は授業時間です。本校の目指す子どもの姿「やさしく・かしこく・しなやかに」の実現も、日々の授業によるところが大きくなります。

そのため、今号より、各学年・学級の授業の様子をお知らせしたいと思います。

第3学年学習発表会「天童大好き」			
学年	発表テーマ	発表者	発表内容
3年1組	天童が大好きな場所	高橋 悠斗	天童の自然の豊かさを
	天童の歴史と文化	山本 悠斗	天童の歴史をたどる
	天童の自然環境	山本 悠斗	天童の自然環境の豊かさを
	天童の文化	山本 悠斗	天童の文化の豊かさを
	天童の歴史	山本 悠斗	天童の歴史の豊かさを
	天童の自然	山本 悠斗	天童の自然の豊かさを
	天童の文化	山本 悠斗	天童の文化の豊かさを
	天童の歴史	山本 悠斗	天童の歴史の豊かさを
	天童の自然	山本 悠斗	天童の自然の豊かさを
	天童の文化	山本 悠斗	天童の文化の豊かさを
3年2組	天童の歴史	山本 悠斗	天童の歴史の豊かさを
	天童の自然	山本 悠斗	天童の自然の豊かさを
	天童の文化	山本 悠斗	天童の文化の豊かさを
	天童の歴史	山本 悠斗	天童の歴史の豊かさを
	天童の自然	山本 悠斗	天童の自然の豊かさを
	天童の文化	山本 悠斗	天童の文化の豊かさを
	天童の歴史	山本 悠斗	天童の歴史の豊かさを
	天童の自然	山本 悠斗	天童の自然の豊かさを
	天童の文化	山本 悠斗	天童の文化の豊かさを
	天童の歴史	山本 悠斗	天童の歴史の豊かさを



11月16日、3年生は「天童大好き」というテーマで学習発表会を行いました。自分たちが調べてきたことを一日に6回発表しました。

発表しながら、自分たちが生活している天童がいかに素敵な場所なのかを学び直しているようでした。

地域に愛着を感じることは一生の宝になります。



11月29日、5年2組（授業者；小林大輝）は、「この違ってなんですか？～国民の生活と食糧生産～」という単元で社会科の授業を行いました。

とっかかりは、同じ寿司なのに回転寿司と東京の一流寿司屋では価格に大きな違いがあるのは何故だろうかということでした。「価格」という視点を持つことで、米を通じた農業、魚を通じた水産業に関わっている人々の工夫や努力を消費者の立場を取り入れながら考えていくことができました。

子供たちは「自分が店主なら安全は譲れない」などと深い考えを出し合っていました。



12月5日、たんぼぼ2組（授業者；佐藤亮子）は、「自分のよさをみつけよう」という単元で自立活動の授業を行いました。

まず、「落ち着きがない」という否定的な言葉を「行動が素早い」という肯定的な言葉に置き換えるようなリフレーミングの手法を学びました。その上で、自分が普段短所だと思っているところも実は自分の良いところなのかもしれないと考え、話し合っていました。

今回は、子供たちの負担を考慮して、2画面カメラを使い、教室に入らずに授業の様子を参観する方法を用いました。

本校のホームページも随時更新していますので、ご覧ください。